

# ヤヤマンパッチ登場

矢山 利彦

健康増進の方法として、食事や運動、呼吸法、化学物質対策、口腔内衛生、ウイルス対策、電磁波対策、気持ちの持ち方などのライフスタイルについてのアドバイスがあります。これらをYou tubeチャンネル「**お金をかけずに健康になる方法**」やバイオレゾナンス医学会、Y.H.C.矢山クリニックでの診療や広報チャンネルでお知らせしてきました。実行されて長年の苦痛から解放されたり、健康度アップの嬉しい感想をたくさんの方よりいただいています。今回は、**すぐれた効果がすぐに実感できる新しい方法「ヤヤマンパッチ」**を紹介します。

## <原理について>

作り方や、構造は簡単ですが、原理には深いものがあります。難しいと思われる方は、この章は読むことを省略されてもよいです。

体の不調のある部位には必ず炎症が生じています。それは、体に入った病因を取り除こうとする免疫反応が炎症だからです。炎症には、発熱、疼痛、腫脹のある急性の炎症があります。これは白血球の中の好中球が主体の炎症です。慢性の炎症はリンパ球が主体となっています。炎症と名がつく病気はたくさんありますが、炎症と名前がついてなくても、例えば糖尿病は膵のインスリンを分泌する細胞の慢性炎症による機能低下、高血圧症は延髄の慢性炎症による交感神経の緊張が主因、癌は弱い炎症が長期間続いた部位に生じ、認知症も脳の弱い炎症が原因です。

このような炎症には酸化反応が生じています。酸化とはマイナスの電荷をもつ電子が奪われる化学反応なので、電位は⊕プラスの状態になっています。そこで体表面から⊖マイナスの電位を加えてみると筋緊張や痛みが軽減することがあります。

炭は電子を供給しやすい電子リッチな物質です。そこで炭を上手に使うことで腐敗を防ぐことが古来よりおこなわれてきました。腐敗も酸化なのでこれは理屈に合っています。しかし、生体はエネルギーをミトコンドリア内で生み出すとき酸化の過程があり、酸化を止めてしまえば良いわけではありません。生体は酸化と抗酸化の微妙なバランスの上で生命活動が営まれているのです。このようなバランスをうまく取れるように工夫してできたものが「ヤヤマンパッチ」なのです。（Drヤヤマンとは患者さんが私のキャラクターの絵を描いて命名した愛称です。）

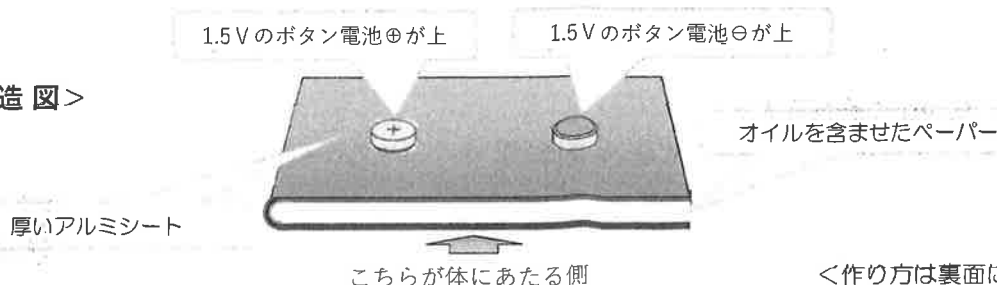
## <構造について>

厚いアルミシートの中に油を含ませた紙をはさむ。これはコンデンサーという電荷を蓄電する装置となっています。この片面に1.5Vのボタン電池を1個は⊕プラス面を、もう1個は⊖マイナス面をあてて貼りつけます。こうすると電池を貼りつけてないアルミの面には⊕プラスと⊖マイナスの電位を平衡化するポテンシャルが発生します。この面を不快感のある皮膚の部位の肌着の上から当てると皮膚の電位が、その部位の要求する方向に変化していきます。そして不快感が消失していきます。

<注意>

医学的な効果は、医師としてデータを公表することはできませんが、医療制度のルールにより「・・・」という病気、「・・・」という症状に効果があると言うことはひかえておきます。（個人の感想を表現することは自由です。）

## <構造図>



<作り方は裏面に記載しています。>

# ヤヤマンパッチの作り方



## <作り方>

アルミシートを半分に折り、片面にティッシュペーパー2枚を四つ折り10cm×12cmぐらいに折って置きます。ペーパーの上にオイル(cocowell製の液体状の有機ココナッツMCTオイルが酸化しないので良い)を横にたれない程度(3ml)含ませアルミシートを閉じます。閉じたシートの上からやさしく手でなでるとペーパーの形がついてきます。シートにペーパーの形がついている部分を折り曲げ形を整えます。

出来上がったシートの上に1.5Vのボタン電池を1個は⊕プラス面をアルミに、もう1個は⊖マイナス面をアルミに貼りつけ、全体を整えサージカルテープで固定したら完成です。

(アルミシートはキャンプ用品売り場にある0.035mmの厚さのもの以外は、すぐに破れますのでこれを使ってください。)

ボタン電池がついてない側を体にあてます。肌着の上からでよい、皮膚につけると汗でアルミが腐食します。電池は自然に放電しますので2~3週したら新しいボタン電池と交換して下さい。症状が強い方は電池を1週でかえて下さい。キットで一度作れば次回から自分で作れます。

⚠・暖房や火のそばでは使用しないようにしましょう。  
 ※・とくに夏場など、高温になる車内に放置しないようにしましょう。

1

アルミシート

10cm

ペーパーの角を切っておく

12cm

2

折り曲げる

3

三方をきちんと折って油がしみ出さないようにする

4

四すみを折って体にフィットするように

5

1.5Vのボタン電池

6

サージカルテープ  
(ボタン電池も固定します)

ボタン電池のない反対側を体に当てます

## <使用方法>

ヤヤマンパッチは一度に2つまではOKでも3つ以上は好転反応がでる可能性があります。体の不快感のある部位に肌着の上からテープ(サージカルテープ)で固定して下さい。又は、ヤヤマンパッチをスカーフなどに巻いて体に固定して下さい。後頭部に不快感のある方はニット帽の内に固定してかぶるのもよい方法です。

原則としてアルミが破れない限りは電池をかえてずっと使えますが、アルミがあまりシワになったときは新しく作り変えて下さい。

## <注意事項>

ヤヤマンパッチは今までに約100名の方に使用して、全く副作用はみいていません。治療を目的としたものではありませんので、疾患をお持ちの方は、医師の指示に従ってください。異常を感じた場合はすぐにヤヤマンパッチをはずして下さい。

## <使用後の感想募集>

\*どんな症状で・・・ \*どのくらいの期間して・・・ \*どんな体感の変化がありましたか・・・

〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町大字尼寺3049-1・0952-62-8892

URL- <https://www.yayamaclinic.com>

E-mail- [info@yayamaclinic.com](mailto:info@yayamaclinic.com)



まとめて発表します  
また良い使い方をメールで  
送信します。

